

株主のみなさまへ



代表取締役社長 いしだ まさあき
石田 雅昭

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2021年度 第2四半期累計期間(2021年4月1日～9月30日)の日本経済は、中国や米国経済の回復に加え新型コロナウイルスのワクチン接種拡大により、経済活動の正常化が進みました。しかしながら原材料・資材価格の高騰や半導体・電子部品不足による経済への影響が懸念される状況となりました。

当社の主要顧客におきましては、社会のデジタル化や脱炭素を背景にエレクトロニクス関連の投資が好調に推移するとともに、自動車関連の投資も堅調に推移いたしました。当社の取り組みといたしましては、投資の拡大が期待できる5G・IoTに関する市場や自動車の自動運転・電動化に関する市場を中心に活動を強化し、受注は好調に推移いたしました。製造面においては電子部品の調達に遅れが生じる中、代替調達や設計変更など対策を講じてまいりました。

こうした結果、連結業績といたしましては、受注高は前年同期比56.7%増の26,569百万円と大幅に増加いたしました。売上高は部品不足による製品納期の長期化などの影響を受け1.6%の増加にとどまりました。利益面につきましては、販管費の増加により営業利益は46.0%減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は53.4%減少となりました。中間配当金につきましては、1株当たり18円とさせていただきます。

なお、2021年10月29日に当第2四半期の連結業績予想を下方修正いたしました。通期の連結業績予想および配当予想は8月公表値から変更しておりません。部品不足の長期化が懸念される状況ではありますが調達先の拡大や代替部品の活用を進め、売上高42,200百万円、営業利益3,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,400百万円を目指してまいります。期末配当金は1株当たり42円、年間配当金は60円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

